令和4年度進捗評価シート
奈良市歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）
（最終変更　令和5年3月30日）

□進捗評価シート（様式１）

①組織体制（様式１－１）
1 計画の実施・推進体制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策（様式1-2）
1 景観計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式1-3）
1 国宝春日大社本社本殿ほか13棟保存修理事業　（平成28年度で事業完了）
2 史跡興福寺旧境内保存修理事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
3 都市景観形成地区建造物保存整備事業(修理事業)（平成28年度で事業終了）
4 都市景観形成地区建造物保存整備事業(修景事業) ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
5 町家建物内部改修モデル事業　（平成27年度で事業終了）
6 奈良町町家バンク事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
7 文化財調査事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
8 三条線電線類美化事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
9 猿沢線街路整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
10 歴史的風致形成建造物保存整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
11 ナラ枯れ等対策事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
12 奈良のシカ保護育成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
13 伝統的建築文化継承事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
14 なら工藝館活用事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
15 伝統祭礼・行事助成事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
16 奈良大茶会珠光茶会開催事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
17 春日大社写生会及び清書会開催支援事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
18 なら国際映画祭・ならシネマテーク開催支援事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
19 入江泰吉記念写真賞・ならPHOTO CONTEST開催支援事業 ・・・・・・・・ 18
20 入江泰吉旧居活用事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
21 奈良町にぎわいの家活用事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
22 観光案内板・名所解説板等整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
23 文化財解説板整備事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
24 奈良まちかど博物館事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
25 観光客誘致事業(奈良町にぎわい事業) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
26 史料保存館活用事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
27 文化財講座開催事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
28 奈良町おもてなし事業　（平成30年度で事業終了）
29 地域の伝統行事発信事業　（令和2年度で事業終了）
30 奈良町見知ル開催事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

④文化財の保存又は活用に関する事項（様式1-4）
1 文化財調査、指定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
2 文化財の修理(整備)、管理、周辺環境の保全 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
3 文化財の防災 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
4 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

⑤効果・影響等に関する報道（様式1-5） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

⑥その他（効果等）（様式1-6）
1「観光の振興」に向けた官民協働の取組 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

□法定協議会等におけるコメントシート（様式2） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

進捗評価シート　　（様式1-1）

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
計画の実施・推進体制	□実施済 ■実施中 □未着手

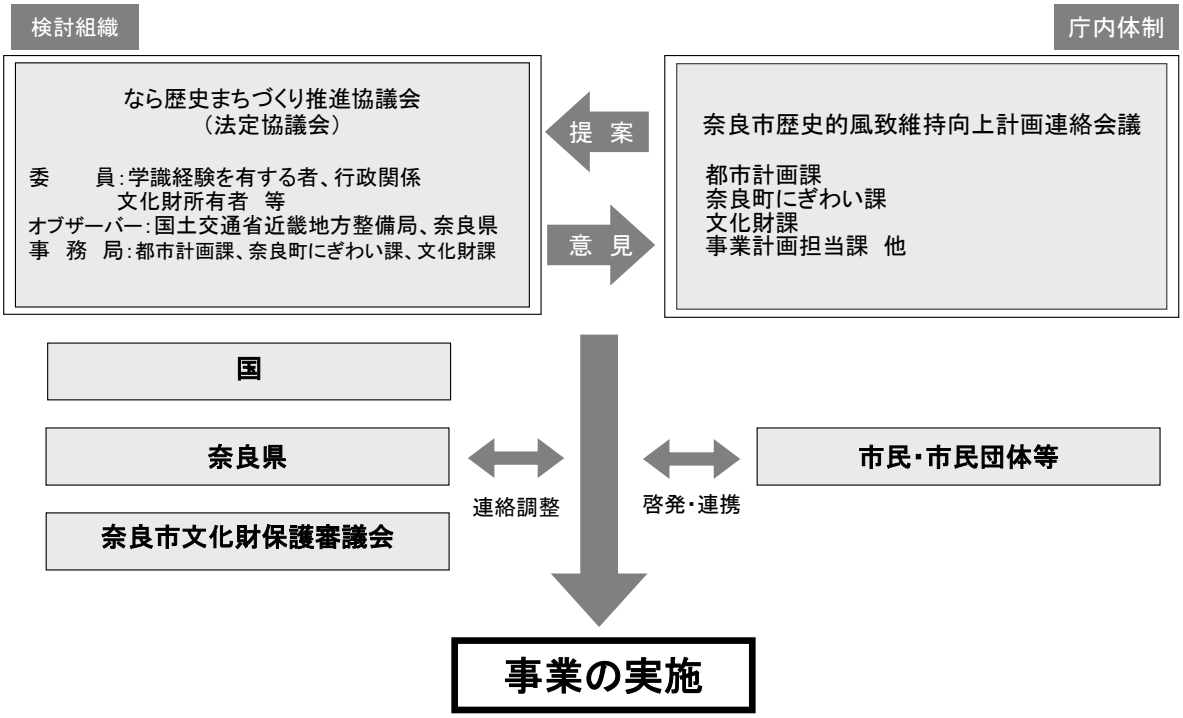
計画に記載している内容	景観まちづくりの担当部局である都市整備部都市計画課、観光担当部局である観光経済部奈良町にぎわい課、文化財保護担当部局である教育部文化財課を中心とした庁内組織である「奈良市歴史的風致維持向上計画連絡会議」と、学識経験者らで構成される「なら歴史まちづくり推進協議会」が連絡調整を行いながら事業を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和5年2月28日に「第13回なら歴史まちづくり推進協議会」を開催した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



●第13回なら歴史まちづくり推進協議会（令和5年2月28日撮影）

進捗評価シート　　（様式1-2）

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
景観計画	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	奈良市景観計画においては、市全域を景観計画区域に指定し、景観形成の方針やデザインガイドラインを定めている。また、元興寺周辺については奈良町歴史的景観形成重点地区に指定し、歴史的な町並みに配慮したきめ細かな景観の誘導を図っている。また、三条通り、大宮通りを沿道景観形成重点地区、近鉄奈良駅周辺とJR奈良駅周辺はまちなか景観形成重点地区に指定し、都市的な景観と歴史的な景観との調和を図っている。

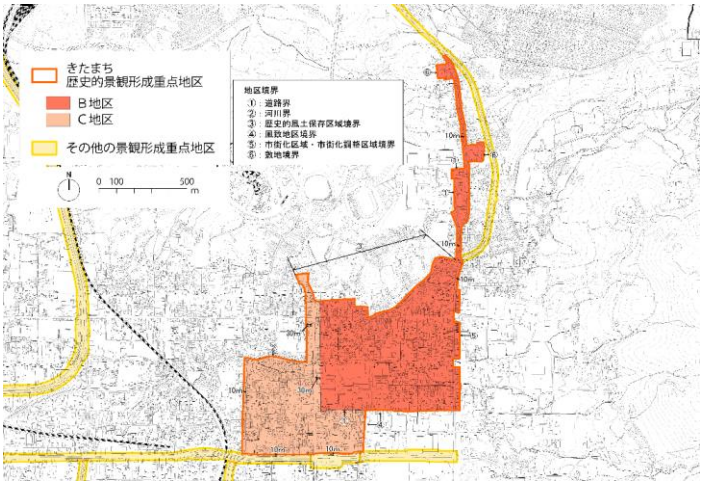
定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

平成22年に策定された奈良市景観計画は、平成28年に眺望景観の保全や歴史的な町並みの保存・保全を目的のため改正を行った。
令和3年度には、大規模な建築物による景観の阻害や歴史的な町並み質感の低下などの課題に対応するため、よりきめ細やかな地域区分や基準設定を中心に計画内容の見直し、改正を行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●きたまち歴史的景観形成重点地区

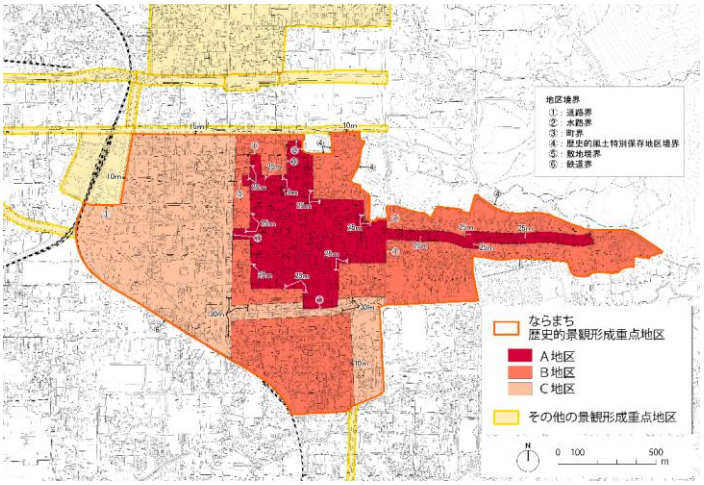


●奈良市を代表する眺望景観

大池からの眺望

平城宮跡からの眺望

●ならまち歴史的景観形成重点地区



進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
史跡興福寺旧境内保存修理事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成10年度～令和6年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存活用事業費補助金、県単独事業(奈良県文化財保存事業費補助金)、市単独事業(奈良市文化財保存事業費補助金)
計画に記載している内容	興福寺旧境内の主要堂宇地区及びその周辺地区において、遺構等の保存・活用整備を行う。発掘調査を実施し、その成果に基づいて基壇の復元や表示による整備を行う他、案内板、解説板、管理用の柵や門等の整備を行う。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

本事業に対し、文化財の保存が適正に行われるよう補助金を交付。
令和4年度は、東金堂院北回廊の発掘調査を実施。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	整備については、史跡整備検討委員会に諮り、現状変更等許可申請を文化庁に申請し、実施方法・史跡の影響などについて協議を行っている。

状況を示す写真や資料等

●東金堂院北回廊発掘調査
令和4年10月13日撮影

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
都市景観形成地区建造物保存整備事業（修景事業）	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成6年度～令和6年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成23年度～令和2年度、単独事業　平成6年度～
計画に記載している内容	奈良町都市景観形成地区内の歴史的な町並み景観を保全するため、空き地などに景観形成基準に適合する建築物や工作物を新築するときに、修景事業とし補助金を交付する。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和4年度は2件実施し、累計で66件となった。また、補助金の応募者が修景内容について地域で活躍する建築士から意見を聴取してより良い内容で修景できる制度を整えているが、令和5年度事業実施分については1件の意見聴取を実施した。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●令和4年度補助実績

	所　在　地	用　　途	内　　容	補　助　額（円）	補　助　率
1	東寺林町	門	門・高塀新設	4,310,000	50%
2	元林院町	店舗	格子窓新設、腰板張替、戸口取替ほか	907,000	50%

●令和4年度　意見聴取事例（令和5年度実施事業分）1件

●修理工事例　（令和4年度　No.2）

【修景前】 令和4年8月5日撮影

【修景後】 令和4年12月15日撮影

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
奈良町町家バンク事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	町家の改修・活用事例の紹介、貸主と借主の引き合わせを行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

当該事業は平成23年に開始され平成27年からは「奈良市空き家・町家バンク」として運営してきた。「町家バンク」を奈良町にぎわい課が、「空き家バンク」を住宅課が管理運営していたが、業務の効率化から令和4年度より空き家バンクと町家バンクの登録業務及びホームページの運営を住宅課が行っている。それにより、バンクの利用者登録について空き家、町家の区別を無くしたため、利用者登録数は「奈良市空き家・町家バンク」の利用者数となっている。
令和4年4月からの利用者登録数は12月末時点で66件、町家バンク登録物件数は5件となっている。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	利用者登録数は一定数確保できているが、物件登録者が少ないという課題がある。 課題について、奈良町にぎわい課と連携し進めていく。

状況を示す写真や資料等

奈良町にぎわい課実績に加算

●町家バンクの登録状況　※件数は平成23年7月～の累計数、（　）内は令和4年4月～の累計数

登録物件数	43件（ 5件）
利用登録者数	411件（66件）
成約数	20件（ 0件）

※再登録を含む

●成約物件の活用事例　※件数は平成23年7月～の累計数、（　）内は令和4年4月～の累計数

住居	3件（ 0件）
店舗	10件（ 0件）
ゲストハウス	3件（ 0件）
カルチャー教室	3件（ 0件）
工房	1件（ 0件）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
文化財調査事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	歴史資料調査　平成8年度～　近世近代建造物調査　平成24年度～　庭園調査　平成24年度～令和3年度
支援事業名	市単独事業（歴史資料調査（大宮家文書調査）、庭園調査は奈良市と奈良文化財研究所）
計画に記載している内容	未指定・未登録文化財の調査及び資料収集を行い、その実態把握に努め、指定・登録など今後の保護を推進するための基礎資料を作成する。歴史資料調査、近世近代建造物調査、庭園調査等を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

＜歴史資料調査＞大宮家文書の調査を実施。
＜近世近代建造物調査＞2件の詳細調査を実施。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●近世近代建造物調査(小屋裏調査の状況)
令和4年11月24日撮影

●大宮家文書調査
令和5年1月17日撮影

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
三条線電線類美化事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成27年度～令和6年度
支援事業名	無電柱化推進計画補助事業及び市単独事業の活用を検討（平成28年度～令和6年度）
計画に記載している内容	三条通の上三条町から登大路町までの区間（延長約800m）の電線類の地中化を行う。

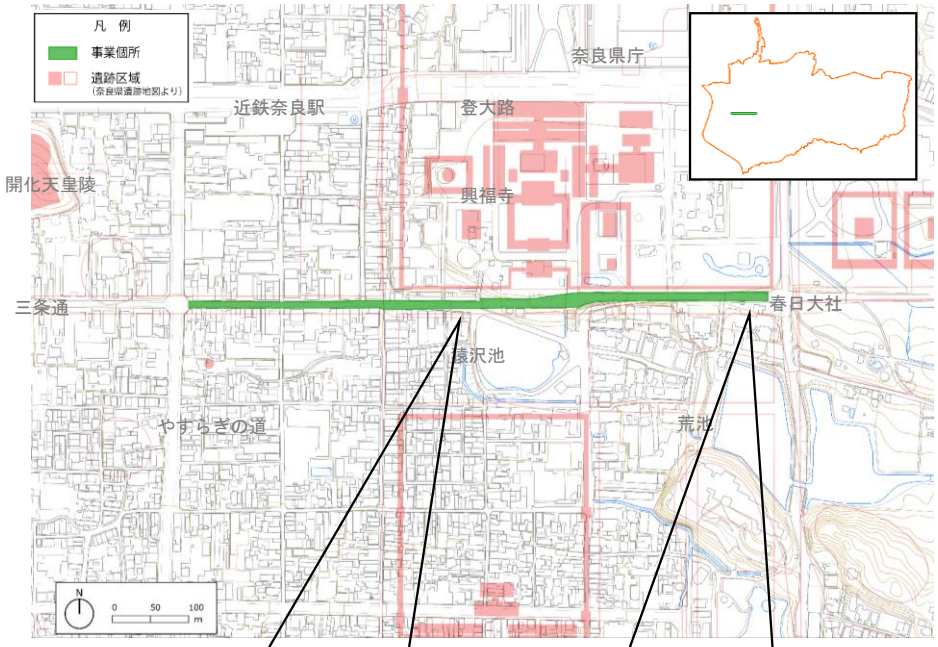
定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和元年度に、無電柱化の推進に関する法律に基づき「奈良市無電柱化推進計画」を策定し、市内で優先的に無電柱化に取り組む箇所の考え方や推進方策などをとりまとめた。
令和4年度は、同計画に位置付けられた市道三条線の無電柱化事業について、特に猿沢池西側から一の鳥居前までの整備に向けて、関係機関等との協議を進めた。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●三条線電線位置図（緑着色部分）



猿沢池西側　：　令和4年12月16日撮影

一の鳥居前　：　令和4年12月16日撮影

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
猿沢線街路整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成27年度～令和6年度
支援事業名	市単独事業、防災・安全交付金（街路事業）の活用を検討
計画に記載している内容	猿沢線の鶴福院町区間（延長120m）の道路拡幅を行う。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

地元でまちづくり研究会が立ち上がり、道路拡幅も含めたまちづくりについて話し合いが行なわれている。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	地元まちづくり研究会の動向を伺う。

状況を示す写真や資料等

●現況写真

令和4年1月7日撮影

令和4年1月7日撮影

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
歴史的風致形成建造物保存整備事業（修理事業）	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成27年度～令和6年度 （平成27、28年度は、奈良町都市景観形成地区を除いた範囲で実施）
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成23年度～令和6年度
計画に記載している内容	奈良町及び奈良公園地区内にある、建築物の外観修理に対して補助金を交付する。奈良町都市景観形成地区以外に点在している、歴史的建造物資産をいかに保存活用するかが大きな課題であり、その課題に戦略的に取り組む。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和4年度は1件の助成を行った（累計25件）。当該物件は平成29年度に当事業により修理した物件だったが、前回修理していなかった外壁からの雨漏りが確認されたため、事業を実施した。これにより、歴史的風致形成建造物の維持が図られた。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●令和4年度補助実績

	所　在　地	用　途		内　　容	補　助　額（円）	補　助　率
		事業前	事業後			
1	法蓮町	住宅	住宅	外壁漆喰塗替ほか	167,000	80%

●修理工事例 （令和4年度 No.1）

【修理前】 令和4年7月26日撮影

【修理後】 令和4年10月22日撮影

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
ナラ枯れ等対策事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	毎年
支援事業名	県単独事業
計画に記載している内容	ナラ枯れや鹿害への対策を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

奈良県が平成22年8月に春日山原始林周辺で現地調査を実施した結果、ナラ枯れ被害を確認した。ナラ枯れ被害対策として、平成22年度に138本、平成23年度に363本、平成24年度に1,267本、平成25年度2,220本、平成26年度1,177本の駆除及び防除を実施した。平成27年度から令和4年度においては、奈良県が航空機による調査を実施したところ、ナラ枯れ被害が減少していることが確認されている。

	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●春日山原始林周辺の様子（奈良県提供：令和4年9月21日撮影）

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
奈良のシカ保護育成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	毎年
支援事業名	県・市・春日大社共同事業
計画に記載している内容	一般社団法人奈良の鹿愛護会や鹿サポーターズクラブへの補助を行い、頭数調査などの調査研究、負傷・疾病鹿の救助、巡回パトロール、人と鹿の共生のための各種イベント、角伐りなどの伝統行事を行う。 また、鹿の生態調査、鹿の啓発看板設置などを行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和4年度は、奈良のシカの生態調査のため頭数調査を行った。
負傷・疾病シカの救助、保護を実施することで奈良のシカの健全な育成を推進した。
鹿寄せや、鹿の角きり等の行事、イベントを実施し、シカを身近に感じてもらい、奈良のシカ保護育成への啓発を行った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

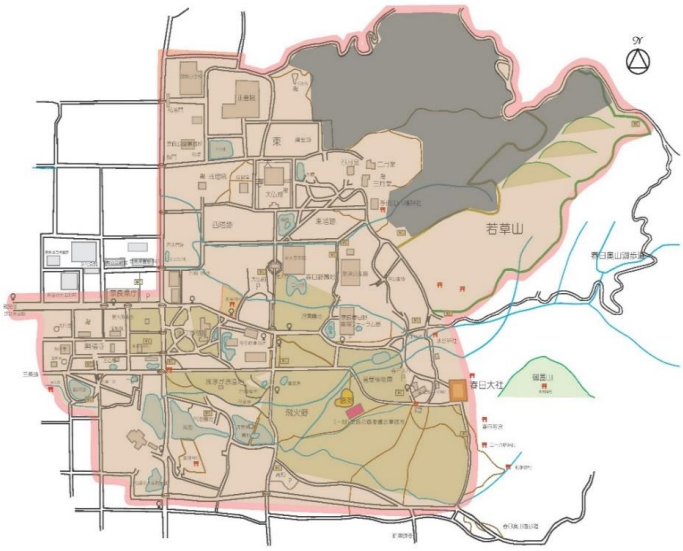
●令和4年度「奈良のシカ」生息頭数調査
・調査日時　令和4年7月15日・16日 午前5時30分～8時
・調査地域奈良公園域内（図面参照）

〇奈良公園の鹿の総数1,182頭
（令和4年7月16日現在）
①奈良公園内生息頭数
総頭数　：　1,182頭（前年比+77）
オス　：　204頭（前年比-13）
メス　：　747頭（前年比-59）
子鹿　：　231頭（前年比+149）
②鹿苑内保護収容頭数
総頭数　：　340頭（前年比-36）
オス　：　186頭（前年比-9）
メス　：　154頭（前年比-27）

●鹿の角きり行事　　令和4年10月撮影

参考資料

「奈良のシカ」頭数調査範囲　調査エリア



進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
伝統的建築文化継承事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成27年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	奈良の伝統的な社寺や町家等に用いられている建築技術の保存に向けたノウハウを伝え、後継者を育成するための講座の開催、建築の伝統的な技法に関する相談窓口の開催、また具体的に町家の修理や活用の実践などを行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

公益社団法人日本建築家協会JIA文化修復塾・近畿支部保存再生会の「JIA文化財修復塾近畿支部現地講習」を令和5年3月25日と26日に開催した。
保存すべき文化的価値の高い建造物等の発掘・把握事業、保存に向けての啓発事業、保存に伴う技術の継承と方策提案事業、修理、改修・利活用についての話を行った。（参加者：25日10人、26日13人）

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

● 令和5年3月25日

● 令和5年3月26日

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
なら工藝館活用事業	□実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成12年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	奈良の工芸である漆器、一刀彫、赤膚焼、乾漆、古楽面、筆、墨、奈良晒、鹿角細工等の作品や制作道具等を展示する。また、伝統工芸品の斡旋販売も行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた「奈良工芸フェスティバル」が3年ぶりに開催された。体験教室等のイベントは感染対策を施しつつ行っている。また、令和3年8月の館の改修により、感染対策に加え、外観・展示内容・販売方法の刷新を行った。今後もアフターコロナの奈良工芸の振興を見据えて、なら工藝館のあり方を模索していく。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染拡大の防止に努めながら、奈良工芸の魅力を発信し、いかに入館者数を増加させていくかが課題である。

状況を示す写真や資料等

●なら工藝館
（参考）過去3年間の入館者数

令和 2年度　20,275人
令和 3年度　26.076人
令和 4年度　33,843人

●若手作家による制作実演の様子

令和4年5月5日撮影

令和4年5月29日撮影

●制作体験教室
（参考）過去3年間の参加者数

令和 2年度　137人
令和 3年度　191人
令和 4年度　100人

●制作体験教室の様子

令和4年5月18日撮影

令和4年5月20日撮影

●奈良工芸フェスティバル
（参考）過去3年間の入場者数

令和 2年度　中止
令和 3年度　中止
令和 4年度　2,623人

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
伝統祭礼・行事助成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	伝統祭礼・行事である春日若宮おん祭、薪御能、采女祭等を行う団体に助成する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

奈良市観光協会より伝統行事の保存会等へ補助金を交付することで、各種行事を実施し、多くの市民及び観光客等に、伝統文化を身近に触れてもらう機会を提供した。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年度は行事の一部中止及び規模を縮小して開催した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●春日若宮おん祭（奈良市観光協会より助成）
【主催】春日若宮おん祭保存会
令和4年12月15日：大宿所詣、御湯立、大宿所祭
令和4年12月16日：大和士宵宮詣、田楽座宵宮詣、宵宮祭
令和4年12月17日：遷幸の儀、暁祭、本殿祭、お渡り式（雨天のため中止）、
御旅所祭、神楽、東遊、田楽、細男、猿楽、舞楽、和舞、還幸の儀

●薪御能　令和4年5月　撮影

●薪御能（奈良市観光協会より助成）
【主催】薪御能保存会
令和4年5月19日：春日大社 「咒師走りの儀」
興福寺 「南大門の儀」
令和4年5月20日：春日大社 「御社上りの儀」
興福寺 「南大門の儀」

●采女祭（奈良市観光協会より助成）
【主催】采女祭保存会
令和4年9月9日：宵宮祭
令和4年9月10日：例祭（花扇奉納神事）
（一般公開なし）

●采女祭　令和4年9月　撮影

●采女祭　令和4年9月　撮影

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-16
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
奈良大茶会珠光茶会開催事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成25年度～
支援事業名	観光戦略課と奈良市観光協会で珠光茶会実行委員会の事務局を担当
計画に記載している内容	茶道の源流ともいえる奈良の地で、「わび茶」を創始した奈良出身の珠光にちなみ、「奈良大茶会珠光茶会」を開催する。お茶席の開催だけでなく、その他のお茶に関する企画等も行う。

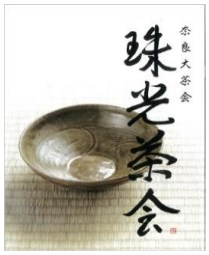
定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

これまで、ならまち地区で元興寺、奈良町にぎわいの家等でお茶席を開催し、来場者数は第一回（平成25年度）約5,900人、第二回（平成26年度）約7,400人、第三回（平成27年度）約9,400人、第四回（平成28年度）約8,400人、第五回（平成29年度）約8,300人、第六回（平成30年度）約6,700人であった。閑散期である冬の時期に全国各地から多くの方にお越しいただいており、成功している事業であると考えている。
令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全てのお茶席の開催を中止したが、お茶文化を発信するため過去の珠光茶会（社寺会場）で配付した小冊子を再編集した『小冊子（総集編）』と若年層(小学生高学年及び中学生)向けの『茶道マンガ教材』を作成・配布した。令和3年度は新コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで実施を予定していたが、新型コロナウイルスの再拡大に伴い、開催を中止した。
令和4年度は、感染症対策を講じ、感染状況を見極めつつ開催し、約750人が来場した。

	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

◆令和2年度　小冊子・茶道マンガ教材作成（新型コロナ感染拡大防止のためお茶席は中止）



過去の小冊子の総集編

若年層向け「茶道マンガ教材」

◆令和3年度　第八回珠光茶会（新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）

◆令和4年度　第九回珠光茶会

期間：令和5年2月6日（月）～2月12日（日）

会場：春日大社/東大寺/元興寺/大安寺/西大寺/唐招提寺 /薬師寺/法華寺
奈良町にぎわいの家/八窓庵（奈良国立博物館内）/名勝大乗院庭園文化館

参加流派及び社中：表千家/裏千家/武者小路千家/遠州流/石州流/籔内流/宗偏流
吉川宗文社中/佐久間宗成社中/敬游会/奈良市茶華道連盟

第九回珠光茶会　令和5年2月6日

第九回珠光茶会　令和5年2月7日

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
春日大社写生会及び清書会開催支援事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成14年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	世界遺産春日大社で開催される写生会及び清書会に対する助成を行う。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和4年度は、令和2年度、令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い開催を見送った。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない	次年度においても、公募において補助金を募集し、交付対象事業に選定されれば補助金を交付する。

状況を示す写真や資料等

※　開催を見送ったため、資料等は無し

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
なら国際映画祭開催支援事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	なら国際映画祭　平成24年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	なら国際映画祭では、地域の映画文化を育み、新人監督作品や学生映画作品などの上映を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和4年度は2年に一度開催する本祭の開催年であり、プレイベントとして7月に尾花座復活上映会、8月に星空上映会、そして9月17日～25日の8日間なら国際映画祭2022が実施された。映画祭の前半は次世代を担う子供たちの応援プロジェクト「なら国際映画祭forYouth2022」として、後半は「なら国際映画祭」として映画76作品を上映、観客動員数5045人、ライブ配信視聴者数15,436人、オンライン上映視聴者数401人だった。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	令和5年度も、公募により交付事業として選定された場合、補助金を交付する。奈良市心のふるさと応援寄附補助金については継続して交付する。

状況を示す写真や資料等

なら国際映画祭for Youth 2022 祈のレッドカーペット
（令和4年9月19日撮影）

なら国際映画祭 2022　クロージングセレモニーの様子
（令和4年9月24日撮影）

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-19
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
入江泰吉記念写真賞・ならPHOTO CONTEST開催支援事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成25年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	入江泰吉氏の写真芸術は、奈良市民の誇りであるとともに、奈良市にとって貴重な財産であり、それらを活かしながら、文化振興計画及び創造都市の理念に基づいた文化政策を達成するため、2年に一度入江泰吉記念写真賞及びなら PHOTO CONTESTを開催する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

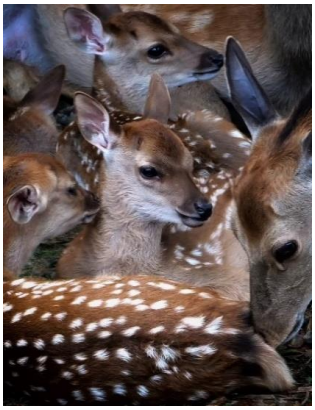
入江泰吉記念写真賞及びなら PHOTO CONTESTは2年を1クールとして開催しており、前回が令和2年度のため、次回は令和4年度実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一年延期し、令和5年度の開催を目指している。
継続して事業実施をすることで、奈良を代表する写真家・入江氏の功績を顕彰するとともに、本市の写真文化のさらなる発展に寄与する事業である。（資料は令和2年度実施の受賞作品）

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	継続実施するなかで、本賞への支援者をより増やすことのできる企画を検討・実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等

●令和2年度実施の受賞作品

第四回入江泰吉記念写真賞受賞　岩波友紀「紡ぎ音」（99枚組）



第四回なら PHOTO CONTEST　なら賞受賞
川口重一「新たなる季節」（3枚組）

第四回なら PHOTO CONTEST　日本経済新聞社賞受賞
乾井義實「大きな樹の下」（3枚組）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-20
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
入江泰吉旧居活用事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成26年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	平成27年3月に開館する「入江泰吉旧居」において、文化講座や暗室の活用等の事業を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

写真家・入江泰吉を偲ぶことのできる講演や、周辺の歴史文化を学ぶことのできる講座等を開催したが、新型コロナウイルス感染症の影響が続いており事業の縮小を余儀無くされた。令和4年度は39件（指定28件/自主11件）の事業を実施し、延べ264人（指定182人/自主82人）の参加があった。また、入館者数は3,974人と前年に比べ、約12%の増となったが、感染症拡大前の数字には、至らない状態である。

	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画通り進捗している □計画どおり進捗していない	講座実施にあたっては参加人数の制限等の感染予防対策を行った。

状況を示す写真や資料等

●講座風景

○入江泰吉の椿図鑑　令和4年4月24日

○親子でつくるピンホールカメラ教室
令和4年7月31日撮影

○入江泰吉旧居で、はじめの一句
令和4年6月27日撮影

○入江泰吉を語り継ぐ　講師：澤戢三
令和4年6月5日撮影

○大和路撮影考－鹿写真家・石井陽子－
令和4年11月14日撮影

○入江泰吉さんぽみち　令和4年10月23日

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸③-21
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
奈良町にぎわいの家活用事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成27年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	地域の方々が、集い、楽しみ、伝えあう地域コミュニティの活動拠点とするとともに、奈良町観光の拠点の一つとして、外国人や修学旅行生などの文化交流の体験施設として活用し、さらには、大学とコラボレーションすることにより、茶道や伝統行事等の奈良町文化の発信基地とする。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

大正6年に建築された旧大西家住宅を修理・改修し、平成27年4月18日から奈良町にぎわいの家として一般公開している。
令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながら、展示企画を充実させるといった対応を行い、施設の目的である奈良町文化の発信及び継承に寄与した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

実施事業	令和4年度		令和3年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数
総数	238回	1,659人	147回	881人
体験イベント	23回	240人	17回	207人
・季節行事	9回	77人	5回	35人
・四季の料理	2回	13人	1回	4人
・茶会	0回	0人	1回	—
・くらし文化体験など	12回	150人	7回	143人
・その他			3回	25人
講座	93回	1,143人	68回	673人
・奈良町の風習	22回	326人	11回	157人
・町家講座	1回	9人	2回	26人
・暮らしの歌(短歌)	6回	71人	7回	148人
・気軽に遊び講座	64回	737人	48回	342人
・その他			0回	0人
その他	122回	276人	62回	1人
・展示(花・アートなど)	113回	43人	61回	—
・町家相談会	0回	0人	1回	1人
・その他	9回	233人	0回	0人

過去の実績	回数	参加人数	
平成27年度	82回	2,186人	
平成28年度	138回	2,523人	
平成29年度	153回	3,964人	
平成30年度	213回	2,830人	
令和元年度	181回	2,071人	
令和2年度	170回	634人	※閉館期間あり

●講座（奈良町びとボイス）
令和4年5月29日撮影

●展示
（つし二階アート企画vol.28浅山美由紀展）
令和4年10月4日撮影

●体験イベント（しめ縄作り）
令和4年12月4日撮影

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-22
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
観光案内板・名所解説板等整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成25年度～令和6年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)（奈良町及び奈良公園重点地区内）、市単独事業(奈良町及び奈良公園重点地区外)
計画に記載している内容	観光案内板の設置

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和4年度は、ならまちエリアに設置されていた道標の劣化が著しかったことから、11基の道標を撤去し新たに設置した。なお、平成25年度からの新規設置数（累計）は、昨年度から変わらず観光案内看板21基、観光名所解説看板26基、指示標識8基。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●令和4年度　観光案内看板・観光名所解説看板設置実績

No.	設置場所（施設名等）	種別
1	高畑菩提町	道標
2	猿沢池南西	
3	元林院町	
4	鶴福院町	
5	鵲町	
6	公納堂町	
7	中新屋町北	
8	脇戸町	
9	阿字万字町	
10	南城戸町	
11	浄言寺町	

【撤去前】　令和4年10月31日撮影

【リニューアル後】　令和5年4月3日撮影

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-23
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
文化財解説板整備事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業(県文化資源活用補助金を活用)
計画に記載している内容	指定・登録文化財の内容や価値を解説する文化財解説板を設置する。(毎年3箇所程度)

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

市内の指定文化財等の内容や価値を周知し、その保存活用について理解と関心を深めてもらうために、所在地に対象文化財の内容説明文を中心に、周辺文化財を含めた位置図ならびに外国語（英・中・韓）による名称表記を添えた解説板を設置している。
令和4年度には5基を製作し、平成19年度に現行形式での解説板設置を始めて以降の設置数は79基となる。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●奈良市指定文化財西大寺石落神社本殿解説板
令和5年3月8日撮影

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-24
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
奈良まちかど博物館事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成15年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	いままでの博物館とは違い、地域の人たちがボランティアの館長として仕事場の一角や個人の収集品等を公開し、地域の伝統の技や文化に触れる機会を提供する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

奈良きたまち地区は平成15年度に開始し令和4年現在は10館、ならまち地区は平成21年度に開始し令和4年現在は15館が開館している。また、平成28年度からは毎年各館長にアンケートを実施し、内容をイラストMAPに反映させている。
令和4年度は、奈良町見知ルに参画し、きたまち・ならまち両地区のまちかど博物館を巡るツアーを実施しした。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●きたまち・まちかど博物館見学ツアー　京街道と息づく伝統！
令和4年11月10日（木）10:00～12:00
参加者：7名
見学箇所：坂本曲齋・三木栄秀堂・植村牧場

●ならまち・まちかど博物館見学ツアー　元興寺旧境内と息づく伝統！
令和4年11月11日（金）10:00～12:00
参加者：6名
見学箇所：松寿堂・菊岡漢方薬局・吉田蚊帳・辻家住宅庭園

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-25
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
観光客誘致事業（奈良町にぎわい事業）	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	毎年（市単独事業）、平成28年度（集約促進景観・歴史的風致形成推進事業）
支援事業名	市単独事業、集約促進景観・歴史的風致形成推進事業
計画に記載している内容	ならまちの夜の魅力を発信するとともに観光客が奈良市内で宿泊する動機づけを高めることを目的とした「世界遺産の夜元興寺寄席」を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和4年度は、新型コロナウイルス感染状況を考慮し、「世界遺産の夜元興寺寄席」として、３年ぶりに有観客で寄席を開催した。
今年度は昨年度に引き続いて浪曲を演目に加えて客層の拡大を図るとともに、東京の奈良まほろば館やJRおおさか東線等の駅へのチラシの配置、デジタルサイネージの活用等により県外からの誘客を図った。県外からの観客は3日間で39名であった。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●令和4年度　世界遺産の夜元興寺寄席　実施状況

演目：落語・講談・浪曲

開催日時：令和4年9月16日(金)～9月18日(日)　3日間

観客数：191人

世界遺産の夜元興寺寄席　チラシ

JR奈良駅デジタルサイネージ

寄席の様子

寄席の様子

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-26
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
史料保存館活用事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	館蔵品を活用し、古文書や絵図等の展示や講座を開催する。（企画展示2回、スポット展示5回、歴史講座1～2回程度）また、奈良町の歴史・文化資料の利活用促進のため、館蔵品のデジタルアーカイブ化を行い、ウェブ上で公開する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和4年度は、館蔵の歴史資料を活用した企画展示を3回、スポット展示の後継である特別陳列「ならまち歳時記」12回、館蔵史料特別公開を12回、また周辺施設や団体との共催事業として、奈良町にぎわいの家での出張展示4回、展示テーマにちなむ解説付きガイドツアー（観光ボランティアの会と共催）3回、古文書入門講座連続2回を開催。この他ならまちわらべうたフェスタに参加し、関連展示の紹介を行った。これらを通して、歴史と文化を活かしたまちづくりへの理解を深める機会とした。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、一部の事業は中止となったが、感染予防対策を講じて、事業の実施に努めた。

状況を示す写真や資料等

●「企画展示」　（人数）

引札－吉祥招福・商売繁盛を願って－	6月 7日(火)～ 7月31日(日)	2818人
「山の寺」念仏寺と江戸時代の奈良町－絵師竹坊作品と「開化天皇陵」関係史料を中心に－	10月18日(火)～11月13日(日)	2607人
町絵図にみる江戸時代の中新屋町と芝新屋町	2月 7日(火)～ 3月12日(日)	2265人

●「特別陳列　ならまち歳時記」／「館蔵史料特別公開」

奈良の桜　植桜楓之碑／明治時代の万博と奈良墨	4月 1日(金)～ 4月24日(日)	1339人
薪能／奈良県初の新聞　日新記聞	4月26日(火)～ 5月29日(日)	2349人
三条村野神絵馬／元興寺五重塔の焼失	5月31日(火)～ 6月26日(日)	1628人
地蔵講／幕末の地震記録	6月28日(火)～ 7月31日(日)	1623人
奈良奉行と万燈籠／戦時下の奈良町	8月 2日(火)～ 8月28日(日)	1441人
芭蕉の句と大和名所／奈良名所風物画	8月30日(火)～ 9月25日(日)	1664人
鹿の角きり／大和名所	9月27日(火)～10月15日(土)	1375人
正倉院御開封之図／幕末の学問所　南都明教館	10月18日(火)～11月13日(日)	2607人
春日若宮おん祭／奈良暦	11月15日(火)～12月18日(日)	2122人
奈良町の正月行事　春日講／宝永５年春日社絵図	12月20日(火)～ 1月22日(日)	1437人
節分真榊奉納／奈良の墨－江戸・明治－	1月24日(火)～ 2月26日(日)	1175人
お水取り／春日大社の御田植神事	2月28日(火)～ 3月31日(金)	1719人
※わらべうたフェスタ参加	10月16日(日)	

●出張展示「タイムトラベル奈良町」

引札 - 吉祥招福・商売繁盛を願って -	6月26日(日)	7人
奈良町絵図をよむ	9月25日(日)	9人
いろいろな暦	12月18日(日)	5人
中新屋町絵図	3月11日(土)	5人

●解説付ガイドツアー

もっと知りたい“句碑で巡る芭蕉と奈良町・東大寺－和州奈良之図で歩く－”	9月13日(火)	中止
もっと知りたい“奈良奉行川路聖謨巡見の地－奈良町絵図で歩く－”	11月 1日(火)	20人
もっと知りたい“春日若宮おん祭”	12月15日(木)	33人
もっと知りたい“和州奈良之図で巡る元興寺旧境内”	2月28日(火)	32人

●講座

古文書入門講座（連続2回）	3月4日(土)　・3月5日（日）	14人

●企画展示　展示解説
令和4年11月6日撮影

●奈良町にぎわいの家　出張展示
令和4年12月18日撮影

●古文書入門講座
令和5年3月5日撮影

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-27
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
文化財講座開催事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業（一部共催）
計画に記載している内容	市民を対象に、文化財についての理解を深める講座を開催する。 ・市内各地域の文化財が対象となるよう計画する。・市指定文化財を活用する。・成人向け講座と小学生とその保護者向け講座を開催する。・内容に応じて、講義・現地見学・体験を適宜組み合わせる。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

・奈良市文化財講座「奈良の文化財をもっと知る講座2022」
(1) 7月31日「古民家で昔のくらし体験～かまどでごはんを炊こう！～」　参加者 10名
(2) 9月25日「文化財登録記念「帯解駅舎の歴史とこれから」講演会＆現地見学会」　参加者 40名
(3) 12月3日「宮跡庭園と近隣の庭を巡り歩く」　参加者 7名
(4) 12月4日「自然と文化探訪－大亀谷国有林×赤膚山元窯－」　参加者 12名

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●奈良市文化財講座
「古民家で昔のくらし体験～かまどでごはんを炊こう！～」
令和4年7月31日撮影

●奈良市文化財講座
「宮跡庭園と近隣の庭を巡り歩く」
令和4年12月3日撮影

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸③-25
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
奈良町見知ル開催事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	令和3年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	地域の伝統・文化の舞台である「場」を活かし、それらに携わる「ひと」が自ら企画し来訪者と交流しながらその良さを伝える機会を創出すること、また、イベント運営に地域のまちづくり団体が携わることで、地域の資産を守り活かす担い手を育み、まちづくりの関係者間の横の連携の強化と促進を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和4年度は、実行委員会に地域のまちづくり団体だけでなく、個人、大学、学生団体が参画した。また、関係者間の横の連携を強化することを目的に、企画参加者（特別公開や特別イベントの実施者）の交流会をイベント前後に開催した。さらに、ボランティアがイベントに参画し、実行委員会、企画参加者、来場者と交流するなど、ステークホルダーが広がり、コミュニケーションの深度が高まった。来場者数が令和3年度は1,889人、令和4年度は3,838と増加し、特別イベントの参加者アンケートで131人中89%の人が非常に満足と回答した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

奈良町見知ル　開催期間：令和4年11月6日(日)～13日(日)　8日間

オープニングトーク　令和4年11月6日撮影

特別イベントの様子　令和4年11月13日撮影

特別公開の様子　令和4年11月13日撮影

実行委員会の様子　令和4年4月14日撮影

企画参加者説明会　令和4年6月22日撮影

企画参加者振り返り会　令和4年11月30日撮影

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
文化財調査、指定	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	未指定文化財を中心に文化財基礎調査を実施 奈良市指定文化財の指定、登録文化財の登録

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

・近世近代建造物調査、歴史資料調査（奈良文化財研究所との連携研究として大宮家文書調査）を実施。
・各文化財分野で行ってきた調査の成果をもとに、市指定文化財に2件を新たに指定。登録文化財は、奈良町の町家等の登録を進めており、当市から4件（1か所）について新たに意見具申した。また、当市からの意見具申に基づき新たに2件（2か所）が登録された。引き続き、候補物件の調査等を進めている。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●近世近代建造物調査(小屋裏調査の状況)
令和4年11月24日撮影

●大宮家文書調査
令和5年1月17日撮影

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④-2
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
文化財の修理（整備）、管理、周辺環境の保全、など	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	国宝春日大社本社本殿ほか13棟保存修理事業、史跡興福寺旧境内記念物保存修理、名勝旧大乗院庭園管理（名勝庭園荒廃防止）事業等、建造物や記念物の修理・整備事業の実施、ナラ枯れ対策などの取り組み

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

評価軸③－2参照。
名勝旧大乗院庭園の管理（荒廃防止）事業に補助金交付。
国、県、市指定の建造物、記念物等の文化財（20件）と文化財保存公開施設（3か所）の管理（委託）。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●史跡興福寺旧境内記念物保存修理
評価軸③－2参照
令和4年10月13日撮影

●名勝旧大乗院庭園管理（名勝庭園荒廃防止）事業
令和5年2月7日撮影

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸④-3
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
文化財の防災	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	防災対策への補助金の交付 自主防災体制の充実、強化を図るため、定期的に防災訓練や広報を実施 文化財所有者と合同の消防訓練等

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

東大寺金堂（大仏殿）ほか22棟防災施設整備事業等に補助金を交付（建造物の防災事業）。
令和5年1月27日、「文化財防火ゼミナール」開催。
令和5年1月24日・28日・30日、3か所で消防局と文化財所有者の合同の文化財防火訓練を実施。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●文化財防火ゼミナール（会場：奈良国立博物館　参加者：約100人）
令和5年1月27日撮影

●文化財防火訓練（会場：大安寺）
令和5年1月30日撮影

評価軸④-4
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	文化財講座開催事業・文化財解説板整備事業・史料保存館活用事業 指定文化財の保存管理や継承を担っている団体に対して補助金を交付 団体と適宜連携し、市民と行政の協働による文化財の保存・活用を推進

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

評価軸③-23、③-26、③-27参照。
奈良市文化財講座の(1)は市教育委員会と奈良市生涯学習財団都跡公民館の共催、(2)は市教育委員会と帯解駅舎保存・活用の会の共催、(4)は市教育委員会と赤膚山元窯保存会の共催。
令和4年度、文化財関係6団体に計830千円の文化財補助金を交付（1団体分は別の補助金に統合）。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

評価軸③-23、③-26、③-27参照

●奈良市文化財講座
「文化財登録記念「帯解駅舎の歴史とこれから」講演会＆現地見学会」40人
令和4年9月25日撮影

●奈良市文化財講座
「自然と文化探訪－大亀谷国有林×赤膚山元窯－」12人
令和4年12月4日撮影

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

評価対象年度	令和4年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
風ゆらりこいのぼり　旧鍋屋連絡所のまちづくり団体　佐保川3か所で	令和4年5月3日	奈良新聞
江戸～明治時代の薪能の史料公開 - 奈良市史料保存館	令和4年5月18日	奈良新聞デジタル
丁寧な細工間近に　奈良町にぎわいの家で「森川杜園月間」	令和4年6月7日	奈良新聞
元興寺五重塔焼失前の露盤残欠　奈良市史料保存館で特別公開	令和4年6月14日	奈良新聞デジタル
奈良市史料保存館　色鮮やか引札ずらり　明治・大正の広告チラシ	令和4年6月25日	奈良新聞
町家のこだわり「奈良町にぎわいの家」で夏休み企画　学びながら体感	令和4年8月14日	奈良新聞
河瀬直美のたたなづく　奈良の青空に思いあらた	令和4年8月22日	毎日新聞（東京・名古屋・大阪・北九州）
まちも楽しむ8日間「なら国際映画祭」19-24日「なら国際映画祭 for Youth」17-19日	令和4年9月2日	大阪日日新聞
いでよ未来の映画人　なら国際映画祭17日開幕	令和4年9月15日	産経新聞　奈良
12年の実りシネマ文化つなぐ　なら国際映画祭開幕	令和4年9月20日	朝日新聞　奈良
注目の若手作品一堂になら国際映画祭開幕	令和4年9月20日	読売新聞　奈良
水川あさみが奈良に来た！！	令和4年9月20日	読売テレビ「朝生ワイドす・またん！」
興福寺の東金堂院、定説の倍の大きさ　回廊の礎石など発掘で判明	令和4年10月13日	朝日新聞デジタル
興福寺東金堂院　倍の規模	令和4年10月14日	読売新聞オンライン
興福寺・東金堂院北面回廊跡の現地見学会　歴史のファンら約1120人が見学	令和4年10月16日	奈良新聞デジタル
一帯の魅力発信「奈良町見知ル」	令和4年10月26日	毎日新聞
わらべうたでならまち活性化　フェス3年ぶりの本格開催　活動30周年	令和4年11月1日	奈良新聞
奈良町見て知って　散策イベント開催	令和4年11月10日	産経新聞
「山の寺」念仏寺と江戸時代の奈良町　奈良市史料保存館で企画展	令和4年11月10日	奈良新聞

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

奈良市歴史的風致維持向上計画に基づき実施する事業について、多数報道されており、報道を通じて、歴史的風致への関心や認識が高まるなどの効果がある。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

※　報道等に関する資料は、権利等の関係により掲載なし

評価軸⑥-1
その他（効果等）

評価対象年度	令和4年度

項目

「観光の振興」に向けた官民協働の取組

計画に記載している内容	「ならまち賑わい構想」（平成4年策定）、「新奈良町にぎわい構想」（平成29年策定）を基に、奈良町を中心に歴史的風致を生かす観光振興に官民協働で取り組んでいる。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付*

「ならまちわらべうたフェスタ」は、ならまちの各会場で、わらべうたをベースにした催しを中心に行う秋の恒例イベントの一つで、令和4年で30回目を迎えた。コロナ禍であり感染症対策を講じながら、ならまちの各施設を回遊して楽しむ企画を3年振りに対面で10月の第3日曜日に開催した。
また、地域住民やNPO団体との協働により運営されるまちかど観光案内所3か所では、コロナ対策を講じながら業務を実施している。

	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

●わらべうたフェスタ

「ならまちをわらべうたの似合うまちに」「ならまちからわらべうたを世界に発信しよう」を合言葉に、産官学民連携による実行委員会形式で開催している。
例年、約30の団体が、ならまちの様々な施設でわらべうたに関連する遊びのイベントを実施している。
令和4年は10月16日（日）に、ならまちセンターをメイン会場として開催した（12,000名参加）

●ならまちわらべうたフェスタ2022　現地開催の様子
令和4年10月16日撮影

●まちかど案内所

地域住民による歴史的建造物の保存と利活用の要望により、地域の歴史観光資源として、官民が連携し地域住民等が運営するまちかど観光案内所を開設している。

・旧鍋屋交番きたまち案内所（奈良市きたまち鍋屋観光案内所）
元旧奈良警察署鍋屋連絡所（明治41年設置、昭和3年に現在の半田横町に移転）を修理し、きたまちの玄関口として、地域の観光案内や地域活動の活性化、大学の研究・教育拠点として利活用し、地域に根差したイベントも実施している。
令和3年度：きたまち正倉院探訪　11月3日（祝）開催　94名
　　きたまち大学校　3月25日（土）開催予定　〇〇名

●旧鍋屋交番きたまち案内所
（奈良市きたまち鍋屋観光案内所）

・奈良市きたまち転害門観光案内所
元南都銀行手貝支店だった建物を修理し、地域のまちづくり団体、ボランティアにより、地域の観光案内や地域活動の活性化などに利活用中。

●奈良市きたまち転害門観光案内所

・京終駅観光案内所
JRの駅舎（明治31年建築）を改修し、地域のまちづくり団体により、地域住民と観光客の交流の場とすべく、駅の待合所と地域の観光案内所やカフェが併設した施設として利活用している。

●京終駅観光案内所

●駅ピアノの設置

●駅前広場でのイルミネーション

法定協議会等におけるコメント　（様式2）

評価対象年度	令和4年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称：　第13回　なら歴史まちづくり推進協議会

会議等の開催日時：　令和5年2月28日（火）　午後1時30分～

（コメントの概要）

第1期の計画期間である10年間が令和6年度で迎えることとなるが、次期計画を行うにあたり、第1期の計画及び事業を継承するのか、新たに組み替えるのかなどの検討が必要である。

（今後の対応方針等）

次期計画については、必要に応じて第1期の計画及び事業を改めて整理し、次期計画に反映できるよう検討を行う。